



2011.10.1発行 不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦



投網 最初の一振り

第2回魚類調査 7月16日としとらず公園で

### 生活の質を高める川づくり

韓国のデジョン（大田）市は人口 150 万人、市の中心部を入間川ほどの川が 3 本も走っています。この街に 2 年間暮らし、あちこちの河川改修を興味深く見てきました。工事の目的は土砂の掘削と合わせ、環境改善や子どものための親水広場づくり、污水管の新設等です。そしてそれらの工事を繋いで 市が 2007 年に出した「自転車都市大田宣言」があるようです。広い河川敷の中に 5 m 巾の道を巡らせ、自転車と歩行者、ジョギングする人たちのために作られた道路です。車は進入禁止となっています。この道をたどれば市の主要な場所に自転車で行くことができるのです。安全地策としては大きな浮袋が水際に 100m 間隔で置いてあります。普段は浅く流れも緩やかな川なので、これで十分なのでしょう。

韓国の人たちは樹木が大好きです。改修工事がまだ終わらないというのに、堤防上に並木を作り、法面の植栽を始めました。簡単な作業は市に雇われた一般市民が行っています。この様な費用をきちんと確保していることに頭が下がります。出来上がった川は、繁華街では心休まる空間に、周辺部では散歩と自然観察が楽しい場になりました。

（丸橋）



カナムグラ

多年草の在来種で、鉄律と書く。河原や荒れ地に生え、トゲで他の植物にからみつき、たくましくはびこる。今年の不老川の土手ではアレチウリと覇権争い。秋の花粉症の原因物質である。

## 第2回魚類調査

# すばしっこい魚たちと格闘！闘

山王小学校おやじの会 村上健一

7月16日(土)、山王中学校前の不老川としとらず公園にて行われた魚類調査に、山王小学校の親子・先生そして山王中学校の生徒・先生の総勢約30名の参加者とともに、私も小4の息子と参加させていただきました。

当日は日差しも強く暑い日でしたが、許可を得てできる投網の第一投には、参加者から「おーっ」と歓声が上がりました。網には、この時期だけ求婚のためきれいな色となった、オイカワのオスやクチボソなどが捕れていました。

その後、各自網を片手に川に入り、すばしっこい魚たちと格闘しながら、オイカワの稚魚を中心にたくさんの魚が捕れ、即席のミニ水族館にこどもたちは目を輝かせてい



ギバチ

ました。

そして、息子が見つけた約15cmのギバチ(死んでいましたが)という8本のヒゲのあるナマズのような魚は、講師の方から、絶滅危惧種で非常に珍しい魚だと教えて頂きました。生きている小さいギバチも捕れたため、貴重な魚も戻ってきていることがわかりました。その他の魚についてもいろいろ教えていただき、参加した子どもたちも真剣に聞いていました。

不老川流域川づくり市民の会のみなさまには、今年も子どもたちをはじめ、私たち大人も楽しく学べる機会をつくっていただきました。今後は私たちにできることで、魚が棲みやすく、みんなが集まれるきれいな不老川にしたいと思います。

どうもありがとうございました。



今年も朝霞から駆けつけてくれた小林さんのかけ声でスタート。オイカワ13匹、モツゴ1匹。昨年同時期8匹捕れたカワムツはゼロ。そしてギバチの親子。昨年に比べて、魚種が減り、オイカワは小ぶりで、数も少い。また、水の冷たくてきれいな上流に棲むギバチが何故としとらず公園に？とナゾが出ます。でも、それは今後魚の観察を続けていけば見えてくるはず。次の調査が楽しみです。

尚、新河岸川水環境連絡会から当会へ、投網、さで網、たも網(大)が贈呈されました。魚類調査に弾みがつきます。

(H.T.)



## 第12回 大森の池まつり

8月7日 約400名参加

猛暑であったが、水に入ったり、水にさわったりした子どもたちは気持ち良さそう。昨年より参加者は少ないが、どのコーナーもゆとりがあり、受け入れ体制としてはちょうど良かったようだ。幼児、低学年の参加が多い。



ウキゴリ

今年是不老川の魚捕りを午前中にして、捕れた魚を水槽に移し皆で観察する。入間市環境アドバイザーの吉田さんの解説付き。昨年より沢山捕れたのは、ほど良い人数のためか。メダカが100匹以上。その他、ドジョウ、モツゴ、ギンブナ。特筆すべきはウキゴリが40匹捕れたということ。不老川では初めてで

ある。何故か、原因が掴めないようだ。

(H.T.)

## キツネノカミソリ

咲きました！

看板近くの土手で8月初め、ぼつりぼつりと増え、8月末まで15本位順次咲いていました。小ぶりだけど、濃い緑の中に赤の色合いは格別です。これまでも草の陰に隠れて咲いていたのでしょうか。今年私たちがやったことは葉の段階で印を立て、つる草など取りのけただけ。保全へ向けて、まず観察から。

木漏れ日を作る枝が被さり、土が湿り気を帯びていることがミソのようです。

(川歩きクラブ)

## 還流水を知ってますか？ 放流方法を問う

5月に不老川の川越市で魚の死骸を多く見かけました。これは東日本大震災による節電で、埼玉県が還流水の放流を夜間8時間だけにしたので、夜に新河岸川から上がってきた魚が、還流水の停止で川水がなくなり、干上がって死んだと思われます。その後梅雨に入り川水が多くなったにもかかわらず、6月11日から、13時間に放流時間を長くしました。

不老川の名前の由来の通り、渇水期には川水が無くなる川ですが、常に川水があるようにしようと、川越市滝ノ下の下水処理水をポンプアップして放流していますが、これを還流水と言っています。

平成10年から、水質改善と水量確保を目的に年間6千万円の電気代を使って行われてきましたが、下水道の普及で水質は改善されたので、現在は水量確保が主となっています。

しかし、その放流方法は洪水になりそうな時に止めるだけで、川水が豊富な時期も少ない時期も関係なく放流するという方法です。

そこで「川水が豊富な時期は止めて少ない時期に放流する」方法に変えるよう埼玉県知事に

提案しましたが、「ポンプの故障や水環境改善の意味から」変更はできないとの回答でしたので、川越県土事務所(川全体の管理を行う部門)と荒川右岸下水道事務所(還流水の担当部門)の説明を求め協議しました。

協議の結果、お互いの意志の疎通を図り、川越県土事務所が主体となって、節電や生態系配慮の放流方法を関係者と連携を取りながら検討することになりました。

9月8日から、電力制限は解除になりましたが、検討結果を反映した放流方法に切り替えていただきたいものです。

注：不老川には上流、林川、久保川の3つの河川水直接浄化施設(礫間浄化施設は10年以上休止中)がありますが、節電のため3月22日から休止しています。

(相馬)

\*尚、「9月8日で震災による電力制限が解除されたので、10月1日から従来の放流方式に戻す。」との連絡が9月22日、荒川右岸下水道事務所よりありました。

## 何のための工事？ 2箇所の工事完成に思う

### 西武新宿線架橋工事

西武新宿線の橋脚が狭く、これがネックとなって溢れ、たびたび浸水被害が発生したので、拡げる工事が行われ、今年3月に完成した。しかし下流の河川工事が完成していないので、一旦拡げた河道を下流の流量に合わせてから狭める工事をフトンカゴ工法で行った

た。だが、今年7月19日の雨(所沢アメダス84mm/日)によると思われるが、一部壊されてしまった。上記工事による流量( $m^3/秒$ )は工事前23、工事後70、狭めて45と計画され、工事前の約倍量( $45 \div 23 = 1.96$ )流れる計算であったが、フトンカゴが壊れた(写真)ことで、さらに多く流れる状況になっている。川越県土事務所からは「仮復旧工事を行ったので、本工事は渇水期に行う」との回答だったが、仮復旧工事は壊れたフトンカゴを撤去しただけなので、川幅はその分広くなったままで、下流での洪水発生危険性が高くなっている。

### としとらず公園

としとらず公園も5月に完成したが、その護岸が壊れて応急工事が行われた。完成後数ヶ月で復旧工事を行うようでは問題であると同時に、浸水防止のために行った工事で浸水被害が発生する可能性が高くなるようでは、何のための工事かと思う。(9月20日 相馬 記)



工事完成直後



7月19日豪雨後

# 中国から渡来した名馬「三国物語」

川越世話人 高木宏

川越市を流れる不老川沿いの福原地区には「中福の観音様」と親しまれている「三国馬頭観音堂」があり、川越藩主・松平信綱公の愛馬「三国」がまつられています。

私が四〇代の時に県西部地域ではただ一人の絵馬師・小槻正信さんと心を通わせ、また、郷土史を研究していた井上良吉さんとも親しくなった。「現代のすばらしい絵馬師小槻さんに名馬を描いてもらい、観音様に奉納しよう、言い伝えをもとに名馬の姿を再現すれば、後世の人にも知ってもらえる」と、井上さんと私が「願主」になり昭和五七年九月の祭礼に絵馬を奉納した。

その後、お堂改築の話が持ち上がった時、講中のAさんの夢枕に白馬が立ち、おじぎをするように首を振りながら歩き出した。Aさんはこの馬についていけば間違いないだろうと懸命に後を追ったという。講談・『夢枕に立つ名馬「三国」』の一席ではないが、二年後の昭和五九年二月、総ヒノキ造りの一坪のお堂と四〇人くらい入れる詰め所が完成し、盛大に「落慶祝賀式典」が催された。

「馬の名前は、唐（中国）天竺（インド）日本の三国に一頭といわれる程気品に満ちた馬ということから」



三国を再現して奉納した大絵馬

## おさそい



### としとらず公園で 第3回 魚類調査

10月9日(日) (雨天中止)  
9:30より

投網の体験も  
できます!

問合せ 村手(2957-3425)

## { 流域情報 }

10/29 森の散策とクラフト体験会  
於 赤坂の森公園研修ルーム  
ドングリ、間伐材を使って

共催 : NPOさや環・堀兼公民館・  
狭山市社会教育課

問合せ: 堀兼公民館(04.2959.3012)

11/6 さやま環境ウオーク2011  
智光山公園と柏原地区

集合: 智光山公園事務所前  
受付9時より

問合せ: 狭山市環境課(04.2953.111)

## 川づくりに参加しませんか

定例会: 毎月第3土曜日 13:30 ~

年会費: 1000円 詳細は下記世話人まで

人間市	相馬	04-2965-1741
狭山市	村手	04-2957-3425
所沢市	小黒	04-2923-8946
川越市	高木	0492-43-9828

## 編集後記

キツネノカミソリ看板前の土手のあたりは、入曽地区の他のエリアより比較的多種の草が生えています。木々が(枝が切られたとはいえ)残されていて、また、12年前のトンカゴ工事の時、キツネノカミソリ移植のため曲りなりにも覆土されていたからです。更にこの多様さは、この川辺に住んでいる人々が、生活の不便があっても、木々や草に囲まれた暮らしを受け入れてきたことで保たれているのです。感謝の気持ちを持って大事にしたい場所です。(H.T.)